

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!

発行所 解放新聞和歌山支局

〒640-8314 和歌山市神前405-3 TEL 073-473-2301 FAX 073-473-2302

発行責任者 藤本哲史



荊冠旗びらきで意志統一を

県連荊冠旗びらきを1月10日、ダイワロイネットホテルでひらき、各界各層より約130人が参加した。今年、マグロの解体ショーの実演が披露された。あつという間にマグロがブロックごとに解体され、身の部分が説明されると、会場から歓声があがった。

はじめに、主催者を代表して藤本哲史・県連執行委員長は「一部差別解消推進法」が施行されて3年が経過した。昨年は、県条例の制定を求めてきた。悪質な差別事件が続発し、差別のされっぱなしの状態から、具体的に示された条例の内容を協議し、一日も早い差別撤廃をめざす。また、湯浅町で条例が制定されたことをふまえ、全市町村に条例制定を求めていく。狭山事件にかかわって、今年こそ勝利を勝ち取る闘いにする。最後に、インターネット上の差別書き込みについて、県はモニタリング事業



参加者とともに闘うことを誓いあう田上実行委員会会長

- 【来賓】
  - ◇国會議員 石田真敏、岸本周平、浮島智子、門博文、二階俊樹、二階俊博
  - ◇参議院議員 鶴保庸介、須崎弘一、鶴保庸介秘書、福井康司、世耕弘成秘書
  - ◇和歌山県 仁坂吉伸、県知事、細川一也、県知事室長、田村一郎、県総務部長、森田康友、県危機管理監、田中一寿、県環境生活部長、宮本浩之、県福祉保健部長、稲本英介、県商工観光労働部長、角谷博史、県農林水産部長、高

- 松論、県土整備部長、飯島孝志、県会計管理者、宮崎泉、県教育長、田嶋久嗣、県企画部長、原田武男、県参事人権局長、嶋岡真志、県人権政策課長、伊藤寿英、県人権政策推進課長、遠見幸弘、県人権政策課副課長、森本吉郎、県人権政策推進課副課長、山田香世、県人権政策課、加藤良隆、県人権政策課、山本洋将、県人権政策課
- ◇和歌山市 尾花正啓、和歌山市長、犬塚康司、市長公室長、前寿広、総務局長、岡崎州宏、危機管理局長、川嶋正起、財政局長、和田年晃、市民環境局長、佐伯正季、健康局長、宮崎久、福祉局長、榊原佳寿、産業交流局長、森泰之、都市建設局長、山下勝則、会計管理者、瀬崎典男、公営企業管理者、山下直樹、消防局長、津守和宏、教育局長、谷口修章、市民部長、堀部右文、秘書課長、平尾朱美、人権同和施策課長
- ◇市町村 平木哲朗、橋本市長、中芝正幸、岩出市長、田岡実千年、新宮市長、上山章善、湯浅町長、西岡利記、広川町長、奥田誠、上富田町長、林信良、紀の川市副市長
- 県・市町村議会 岸本健、県議会議長、吉井和規、県議會議員、長坂隆司、県議會議員、谷口和樹、

- 県議會議員、林隆一、県議會議員、松本哲郎、和歌山市議會議員、山中敏生、同市議會議員、山中敏生、同市議會議員、榎本喜之、紀の川市議會議員、田畑昭二、岩出市議會議員
- 各種団体 長田吉文、連合和歌山会長代行、近藤忠司、和歌山同業連代表幹事、西電力(株)和歌山支社長、赤松明秀、和歌山県同業連議長、朴正隆、部落解放和歌山県共闘会議議長、田上武、部落解放・人権行政確立要求県実行委員会会長、津村清信、和歌山県同業連、雨貝寛樹、高山山真言宗人権課長、和歌山哲也、和歌山県商工会議所連合会常任幹事、野田孝雄、和歌山県商工会連合会専務理事、林勝治、和歌山県農業協同組合中央会総合企画部長、裏野勝也、和歌山県平和フォーラム代表、東山昭久、社会民主党和歌山県連合代表、野口道彦(一社)和歌山人権研究所理事、辻健二、同事務所長、胡るみ子、同研究所、吉原千恵、同研究所、野口宗宏、県職員労働組合執行委員長、加藤康夫、同労働組合書記長、南喜貴、J-P労働組和歌山連協議長、真珠規、N-T労働組合和歌山分会事務局長、上杉貴夫、本州化学労働組合副執行委員長、野田拓也、日教組和歌山執行委員長、中島俊之、日教組和歌山書記長、土井敏弘、県町村会事務局長、角幸彦、県宅地建物取引業協会会長、藤井幹雄、県連顧問弁護士
- ◇和歌山同業連 坂本和人、楠本敏也、栗本利幸、早川和宏、野中努、久本倫裕、羽原俊哉、関雅彦、森田紹仁、竹田雅則、

- 池田桂一、高岡淳、大村弘人、林秀樹、新美嘉浩、中野剛一

頑健

「おじさんあなたは何歳か」といって、記事を読んだ。アルバイトをしている高専生からの記事だ。内容は、コンビニでアルバイトをして、アルバイトを押し進めようとしたが、相手は「未成年に見えるか」と怒鳴ってきたという。投稿者は「文句を言って余計の時間を延ばす方がよっぽど面倒だと気づかないのだから」とつぶやいた。まさにそのとおりだ。そして「年功序列の組織で部下が増え、自分は偉いと勘違いする(中略)社会では誰もあなたを偉いとは認識していない」としめくくつた。納得だ。年功序列世帯にとっても、多くの部下を従えようと、「年上偉い」という錯覚をしてしまいがちだが、本来は「稲穂は頭を垂れる」のだ。話は変わって、森友学園問題で決裁文書の改ざん後に命を絶つた赤木俊夫さんの手記を拝見した。「謝っても、気が狂うほどの怖さと、辛さ」とある。パワハラ官僚の強硬な国会対応が一人の命を奪ったのだ。日本社会は、年功序列に加えて波風が立たないよう「右に倣え」と叩き込まれてきた。「今の若者は」といって人ほど、「年上偉い」という錯覚がパワハラという人物を形成していくのだ。国は「命を奪う」という「謝っても許されない」ことをしてしまっただけで、気づかないのか。(A・H)

- 【祝電】
  - ◇国會議員 鶴保庸介、世耕弘成
  - ◇参議院議員 二階俊博、石田真敏、岸本周平、門博文、浮島智子
  - ◇市町村長 望月良男、和歌山県市長会長、神出政巳、海南市長、平木哲朗、橋本市長、望月良男、有田市長、真砂充敏、田辺市長、寺本光嘉、紀美野町長、中阪雅則、かつらぎ町長、岡本章、九度山町長、平野嘉也、高野町長、久留米啓史、日高川町長、井瀬誠、白浜町長、岩田勉、すさみ町長、西前啓市、古座川町長、田嶋勝正、串本町長
  - 県・市町村議会 長坂隆司、県議會議員、井上直樹、和歌山市議會議員、安達克典、田辺市議會議員、新堀行雄、かつらぎ町議會議長、堀口晴生、印南町議會議長、西尾智明、白浜町議會議員、大石哲雄、上富田町議會議員、結城力、串本町議會議員
  - 各種団体 谷口和樹、立憲民主党和歌山県連合代表、森田敏行、和歌山県商工会連合会会長、谷川雅彦(一社)部落解放・人権研究所代表理事
  - 【メッセージ】 愛知県連、京都府連、大阪府連、兵庫県連、奈良県連、香川県連、高知県連、徳島県連、愛媛県連、広島県連、島根県連、山口県連、佐賀県連、熊本県連 (順不同・敬称略)